

新宿区議会だより

発行：新宿区議会 ☎ (3209) 1111 (代表)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
ホームページアドレス <http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html>



No. 299

令和3年(2021年)11月15日発行

今号の主な内容

- 令和3年第3回臨時会・第3回定例会
議案の概要と審議結果 …… 2面
- 区政のここを問う！
定例会での代表・一般質問 …… 3～5面
- 決算特別委員会を特集 …… 6, 7面
- 委員会の動き …… 8面
- 請願・陳情の審議結果 …… 8面



7月21日(水)～9月5日(日)小・中学生が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の応援のため制作したタペストリーを展示(新宿スポーツセンター)

9月24日(金)～10月6日(水) 決算特別委員会

8月3日(火) 「平和のポスター展」最優秀賞の児童・生徒を表彰

トップニュース

第3回臨時会で可決した 議案

区長提出議案1件を可決

- 令和3年度一般会計補正予算(第7号)
 - ・ 店舗等家賃減額助成の実績増及び助成対象期間延長に伴う増額
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の予防接種の増額に伴う経費

9億4,963万5千円
4億1,947万円
3億6,938万6千円 など
関連記事 2面

区民の納得できる 予算執行 がなされたか

令和2年度予算の執行状況を「決算特別委員会」にて審査

第3回定例会では17名からなる決算特別委員会を設置し、令和2年度各会計の執行状況を審査しました。一般会計の実質収支は、34億6,851万円の黒字となり、財政調整基金の積み立てや取り崩し等を控除した実質単年度収支は、13億2,503万3千円の黒字になりました。財政の弾力性を示す経常収支比率は、前年度と比べ2.5ポイント増の84.0%となりました。特別会計を加えた全会計歳入2,564億1,061万5,878円、全会計歳出2,509億7,644万1,528円の決算を認定しました。

関連記事 2、6、7面

第3回定例会で可決した主な 議案

区長提出議案26件と議員提出議案3件を可決

- 区営住宅等の使用資格について、同居することが要件となっている親族の範囲に、児童福祉法の規定により委託を受けている児童(里子)等を追加し、里親家族も区営住宅等を使用することができることとする。
- 令和3年度一般会計補正予算(第8号)
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対策に要する経費
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業活動に影響を受ける区内中小企業者の支援として融資資金の貸付等に要する経費
- 令和3年度一般会計補正予算(第9号)
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の予防接種の増額に伴う経費

42億7,981万3千円
10億4,768万4千円
6億6,839万円 など
18億3,903万9千円
17億4,004万7千円 など
関連記事 2面

今定例会で議決した 意見書 (要旨)

選択的夫婦別姓制度について

国会審議の推進を求める意見書

現行の民法では、婚姻時に夫婦のいずれか一方が姓を改めることと規定しています。政府は旧姓の通称使用の拡大の取組を進めていますが、ダブルネームを使い分ける負担の増加、社会的なダブルネーム管理コスト、個人識別の誤りのリスクやコストを増大させる等の問題も指摘されています。また、少子高齢化による一人っ子同士の結婚や子連れ再婚、高齢での結婚が増え、改姓を望まないと考えられる人や現行の民法では改姓をしなければならないことから結婚を諦めてしまう人がいるため、一層非婚や少子化につながる要因にもなっています。

このような状況から、国連の女子差別撤廃委員会は、日本政府に対し女性結婚前の姓を保持する選択を可能にするよう再三にわたる民法の改正を勧告しています。

よって、選択的夫婦別姓制度の国会審議における積極的な議論を行うよう、国会及び政府に強く求めました。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しています。地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向けて増大する財政需要に見合う財源が求められています。その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれます。

よって、「令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、『経済財政運営と改革の基本方針2021』において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保するとされていますが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること」等を国会及び政府に強く求めました。

固定資産税及び都市計画税の 軽減措置の継続を求める意見書

固定資産税及び都市計画税に係る軽減措置について令和4年度以後も継続するように東京都に求めました。

意見書の全文は、区議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局までご連絡ください。

議案の概要と審議結果（賛成…○、反対…×

会派略称 自 民＝自由民主党新宿区議会議員団 公 明＝新宿区議会公明党
共 産＝日本共産党新宿区議会議員団 民無ク＝立憲民主党・無所属クラブ
新宿会＝新宿未来の会 社 民＝社民党新宿区議会議員団
スタ新＝スタートアップ新宿 ちい声＝ちいさき声をすくいあげる会

令和3年第3回臨時会（7月30日）

議 案 名			概 要			自民	公明	共産	民無ク	新宿会	社民	スタ新	ちい声	議決結果
区長提出議案（1件）	予算（1件）	令和3年度新宿区一般会計補正予算（第7号）	補正予算額：9億4,963万5千円、補正後予算額：1,656億7,116万5千円 補正の理由：新型コロナウイルス感染症の影響を受けている区内小売・飲食・サービス業を営む中小企業者への感染症拡大防止対策や業態転換、販売促進等に係る助成金の実績増及び助成対象期間延長に伴う増額に要する経費、新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している賃借人の家賃を減額した店舗等の賃貸人に対する助成金の実績増及び助成対象期間延長に伴う増額に要する経費、新型コロナウイルス感染症の予防接種の増額に要する経費、PCR検査及び抗原検査を実施する医療機関への協力金の実績増に伴う経費等を計上			○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和3年第3回定例会（9月21日～10月15日）

議 案 名			概 要		自民	公明	共産	民無ク	新宿会	社民	スタ新	ちい声	議決結果	
区長提出議案（26件）	予算（6件）	令和３年度新宿区一般会計補正予算（第８号）	補正予算額：42 億 7,981 万 3 千円、補正後予算額：1,699 億 5,097 万 8 千円 補正の理由：新型コロナウイルス感染症対策（予防接種、医療費公費負担、保健所の機能強化、移送体制の確保）に要する経費、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業活動に影響を受ける区内中小企業者の支援に要する経費、後期高齢者医療特別会計保険料軽減措置繰入金の減額等に伴う繰出金の減、新宿文化センター特定天井等改修工事設計委託に要する経費、法改正に伴う保健情報システム改修委託に要する経費、国、都支出金及び諸収入の収入超過に伴う返納金、財政調整基金積立金 等を計上		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		令和３年度新宿区一般会計補正予算（第９号）	補正予算額：18 億 3,903 万 9 千円、補正後予算額：1,717 億 9,001 万 7 千円 補正の理由：新型コロナウイルス感染症の予防接種の増額及び感染症対策従事職員への職員手当の増額に伴う増、介護、障害福祉サービス等事業所の職員及び新宿養護学校の職員等を対象とした PCR 検査業務委託に伴う増、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者への事業再興支援のための専門家活用支援事業助成の増額に伴う増 等を計上		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		令和３年度新宿区国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	補正予算額：1,103 万 5 千円、補正後予算額：352 億 4,830 万円 補正の理由：都支出金の収入超過に伴う返納金 等を計上		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		令和３年度新宿区国民健康保険特別会計補正予算（第４号）	補正予算額：839 万 9 千円、補正後予算額：352 億 5,669 万 9 千円 補正の理由：新型コロナウイルス感染症対策として実施している傷病手当金の増額に伴う増 等を計上		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		令和３年度新宿区介護保険特別会計補正予算（第３号）	補正予算額：14 億 4,546 万 9 千円、補正後予算額：276 億 9,212 万 6 千円 補正の理由：介護給付準備基金積立金、第1号被保険者保険料の過誤納還付金、国庫支出金・支払基金交付金及び都支出金の収入超過に伴う返納金 等を計上		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		令和３年度新宿区後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	補正予算額：3,079 万 9 千円、補正後予算額：75 億 4,010 万 4 千円 補正の理由：保険料等納付金、受託事業収入の収入超過に伴う返納金 等を計上		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	決算（４件）	令和２年度新宿区一般会計歳入歳出決算	6 面、7 面の「決算特別委員会・各会派の意見」をご覧ください。		○	○	×	○	○	×	○	×	○	認定
		令和２年度新宿区国民健康保険特別会計歳入歳出決算			○	○	×	○	○	×	○	×	○	認定
		令和２年度新宿区介護保険特別会計歳入歳出決算			○	○	×	○	○	×	○	×	○	認定
		令和２年度新宿区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算			○	○	×	○	○	×	○	×	○	認定
	条例の改正（９件）	新宿区における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の改正に伴い、引用条項を改める。		○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区個人情報保護条例の一部を改正する条例	「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の改正に伴い、引用条項を改める。		○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区一般事務手数料条例の一部を改正する条例	1「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の改正に伴い、個人番号カードの再交付手数料に係る規定を削除する。 2「介護保険法施行規則」の改正に伴い、介護予防ケアマネジメント計画手数料の算定方法を改める。		○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区住民基本台帳制度の適正な運用に関する条例の一部を改正する条例	「ストーカー行為等の規制等に関する法律」の改正に伴い、規定を整備する。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」を定めている厚生労働省令の改正に伴い、所要の改正を行う。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めている内閣府令の改正に伴い、所要の改正を行う。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区保健衛生事務手数料条例の一部を改正する条例	「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」等の改正に伴い、引用条項を改める。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区立住宅管理条例の一部を改正する条例	区営住宅等の使用資格について、同居することが要件となっている親族の範囲に、児童福祉法の規定により委託を受けている児童（里子）等を追加し、里親家庭も区営住宅等を使用することができることとする。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区立の小学校、中学校及び特別支援学校の非常勤の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	「公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償の基準を定める政令」等の改正に伴い、介護補償の額を改定する。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	その他（３件）	新宿区立清風園解体及び擁壁改修工事請負契約	清風園解体及び擁壁改修工事施行のため、請負契約を締結する。		○	○	×	○	○	×	○	×	○	可決
		新宿中央公園（ちびっこ広場）再整備工事請負契約	新宿中央公園（ちびっこ広場）再整備工事施行のため、請負契約を締結する。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		特別区道の路線の廃止及び認定について	廃止する路線 ・起点：西新宿五丁目 530 番 36 地先 終点：西新宿五丁目 523 番 1 地先 ・起点：西新宿五丁目 483 番 2 地先 終点：西新宿五丁目 484 番 1 地先 ・起点：西新宿五丁目 483 番 1 地先 終点：西新宿五丁目 500 番 4 地先 ・起点：西新宿五丁目 475 番地先 終点：西新宿五丁目 500 番 9 地先 認定する路線 ・起点：西新宿五丁目 530 番 13 地先 終点：西新宿五丁目 523 番 1 地先 ・起点：西新宿五丁目 480 番 2 地先 終点：西新宿五丁目 500 番 4 地先 ・起点：西新宿五丁目 474 番 4 地先 終点：西新宿五丁目 500 番 9 地先 ・起点：西新宿五丁目 533 番 38 地先 終点：西新宿五丁目 537 番 8 地内		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		人事の同意	新宿区教育委員会委員任命の同意について	星野洋氏		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問（３件）	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見の聴取について	金井重彦氏、井上美那子氏、飯島泰文氏		○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定
議員提出議案（３件）	意見書（３件）	選択的夫婦別姓制度について国会審議の推進を求める意見書	1 面の「意見書（要旨）」をご覧ください。		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書			○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書			○	○	○	○	○	○	○	○	可決	



区政のことを問う

新宿区の広報戦略と 成年年齢18歳へ引き下げへの対応

新宿未来の会

代表質問



のづ ケン

質問 ①区の広報として、広報新宿を有効的に活用し、多くの区民に届けることが大切。配布方法は現行の新聞折り込みと直接ポストイングによる全戸配布方式の併用も必要では。②成年年齢が18歳に引き下げられるが、若者が悪質業者のターゲットとなることが懸念される。区は消費者教育や消費者窓口の周知にどのように取り組んでいくのか。

的・効率的な配布方法を選択していく。②消費者教育は重要。令和3年度は若年層向けにQRコードを付けた消費生活センター利用案内を作成し、周知。また、若年層の利用傾向が多いSNSを活用した情報発信を行っていく。

質問 ①新聞折り込みと希望者への個別配達を基本としながら、周知対象や内容に応じて、効果



成年年齢18歳への引き下げに向けて、若者への適切な支援を

ウィズコロナにおける区政

自由民主党新宿区議会議員団

代表質問



下村 治生

質問 新型コロナウイルス感染症により社会の様子や生活が一変し、社会が転換期を迎える中、区民が安心して生活できる環境を取り戻すにはまずは感染症対策の徹底が最優先。①ワクチン接種の実績。②保健所の状況は。

回答 ①9月14日現在、区全体の接種率は47.0%、すでに区の集団接種の予約をしている方を含めると、57.7%である。働く世代の接種率の向上が課題と認識。9月22日から区立元気館で、10月から若松地域センター及び大久保地域センターで、午後8時までの接種枠を設けた。東京ドームや職域接種の区民枠での接種など、区民の都合に合わせて選択ができるよう、引き続き広報新宿や区HP等により情報発信し、ワクチン接種を推進していく。②保健所は、相談対応、疫学調査、健康観察、入院調整

等の継続に加え、自宅療養者からの救急要請に24時間体制で対応。今後の感染再拡大に備え、庁内応援体制の整備及び保健所機能の強化に努めるとともに、往診に対応する医療機関の拡充や、酸素投与等を行える一時的な滞在施設の設置など、自宅療養者の支援も検討。

自治体のデジタル化について

質問 ①マイナポータルから直接電子申請できる仕組みの見通しは。②デジタル化における民間ノウハウの導入の考えは。

回答 ①現在、マイナポータルによる電子申請手続を、国が指定する子育て分野・介護分野・被災者支援の27手続について導入準備を進めており、令和4年度末までに全ての手続きについて導入する。②令和4年度から民間提案制度を導入し、行政のデジタル化を含む様々な分野において、民間の柔軟な発想や専門性を活かした行政サービスの提供に取り組んでいく。



様々な手続きをマイナポータルから

障害者施策について

質問 ①デジタル化による視覚障害者にとっての利便性の向上は。②障害者グループホームの

整備方針は。

回答 ①令和3年度、視覚障害者を対象に、スマートフォンなどの利用促進を目的とした講座を、視覚・聴覚障害者交流コーナーで実施予定。また、スマートフォン対応の音声信号機の増設について、具体的な希望場所などを確認し、所管の警察署に要望内容を伝えていく。②事業者の創意工夫や安定した経営が可能となるよう、制約等をできる限り設けずに公募し、多様なニーズに応えた提案がされるよう、設置を支援してきた。こうした方針のもと、11月上旬に公募を開始する高齢者いこいの家「清風園」跡地活用の障害者グループホームの公募にあたって、肢体不自由者も入居対象とすることを条件に入れる予定で検討。

ウィズコロナにおける

学校教育について

質問 東京2020パラリンピック大会を契機とする①障害者理解教育②学校連携観戦について、それぞれの取組みの成果のご所見は。

回答 ①すべての区立小・中・特別支援学校で、障害者スポーツ体験を軸とした障害者理解教育を行っており、共生社会の実現に向け、主体的に考える児童・生徒の姿が多く見られた。今後、障害者スポーツ団体等と連携し、知的障害等、他の障害にも学習内容を広げ、障害者理解教育の更なる充実を図る。②障害者理解教育の学習を踏まえて観戦したことで、児童・生徒にとって、かけがえのない記憶に残る取組みになったと認識。

新型コロナウイルス感染症に関する対策の強化

新宿区議会公明党

代表質問



三沢 ひで子

質問 ①新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数が急増し、区内でも保健所の十分な調査が難しくなっているという報道や、都の配食サービスやパルスオキシメーターの貸与につながりにくくなっていた状況もあつた。まだ感染動向は予断を許さない状況が続いている。自宅療養者等の支援強化について、相談体制や健康観察を適切に行うためには、さらに保健所機能を強化する必要がある。また、配食サービス等が必要な自宅療養者には迅速にサービスが届くよう都に要望し、療養体制を整備する必要がある。区の考えは。②小児の感染が増加することも危惧されており、小児や妊婦の方など特別な配慮が求められる患者を必要に応じて確実に入院につなげられるように、都や医療機関と連携して、さらに医療体制の強化を図るべき。



新型コロナウイルスの対策強化を

ワクチン接種時間の夜間延長

質問 集団接種会場でのワクチン接種の時間は、原則17時までとなっている。しかし、この時間帯では学生やサラリーマンなどは17時までに接種会場に行くことができない。我が会派は8月27日に区に対して緊急要望を行い、接種時間の夜間延長を求めた。区には迅速に対応していただき、夜の時間帯まで延長する接種会場が始まると聞いているが、その現状は。

回答 若者世代や働く世代が接

種を受けやすくするため、9月22日から区立元気館で20時までの接種枠を新設し、9月13日から予約を受け付け、夜の時間帯枠が一定程度予約されている状況。また、10月からは夜に接種を受けられる実施会場として区立若松地域センター及び大久保地域センターを増やし、区民の利便性を向上していく。

ショートステイ型の

産後ケア事業を拡充すべき

質問 区は、産後に実家等からのサポートが見込めない家庭などを対象に、令和3年4月から支援施設で1泊2日・3泊4日の利用ができるショートステイ型の産後ケア事業を始めた。今

後、区が設置した支援施設の利用申し込みが重なり予約が取れない場合や、災害時に被災者でいっぱいになった場合、コロナ感染でクラスターが発生して施設の利用ができない場合などを想定して、区内だけでなく近隣の支援施設も利用できるように、事業を拡充すべき。

答弁 ショートステイ型の産後ケア事業は、病院の空きベッドを活用する性質上、コロナ禍においてはベッドの確保が困難になるという課題がある。このような状況にあっても区民が安定的に利用できるように、区外の病院・助産院を含めた支援施設の利用について選択肢を増やせるように検討していく。

子どもの学びの保障のため
一日も早いオンライン授業実施を

日本共産党新宿区議会議員団

代表質問



川村 のりあき

質問 ①8月25日時点、新型コロナウイルス感染を恐れての欠席は小学校200名、中学校40名にのぼる。受け止めは。②欠席する子どもの学びを保障すべき。他の自治体できているように双方方向のオンライン授業を選択できるようにすべき。③今冬での再拡大や感染防止のため今からでも早急に体制構築を行うべき。実現の目途と課題は。

答弁 ①児童・生徒自身が感染しないため、高齢の家族と同居のため、後遺症の不安など様々な理由が考えられる。②一部の学校ではオンラインによる学習



オンライン授業開始で学びの保障を

清風園廃止・解体と
障害者グループホーム建設

質問 ①高齢者いこいの家清風園の廃止については、住民や利用者の納得が得られていない。再度住民説明会を開催すべき。②清風園跡地に整備予定の障害者グループホームは土地の形状から施設規模も制限されており、採算面で大きな問題がある。法人のヒアリング内容は。

③都営角筈住宅跡地に障害者グループホームを建設する姿勢で臨むべき。私どもは、大山とも子都議会議員と共に都の担当者と交渉を行ったが、都は区の提案があれば応じるとのこと。すぐに行動を起こすべき。④2020年「障害者実態調査」によれば、在宅の方を対象とした調査では、福祉ホーム入所282名、障害

者グループホーム入所240名と入所の希望は多く、住み慣れた、家族のいる新宿で入所できることを特に希望されている。知的障害者の通過型、体験型、サテライト型のグループホームも必要。今の計画では不足している。区の考えは。

答弁 ①概ね地域のご理解をいただき、令和2年6月に廃止の議決をいただいている。②現地を見ながら区内需要を伝え、法人が運営する施設の知見の収集等に努めた。土地の形状について法人からの懸念は出ていない。③都営角筈住宅跡地は都が活用方針を検討。地元の意向を反映するよう都へ伝えている。④多様な形態のグループホーム等の要望は承知しており、法人から開設相談があれば要望があることを伝えていく。

新型コロナウイルス感染拡大防止について

立憲民主党・無所属クラブ

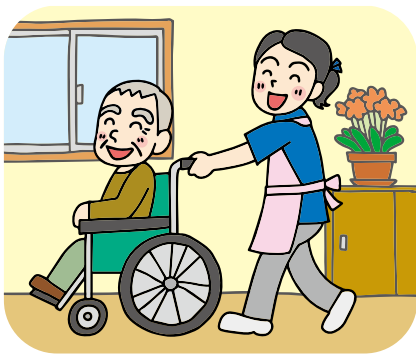
代表質問



久保 こうすけ

質問 ①生命の危機に瀕する可能性のある自宅療養者を減らすために健康観察事業を拡大すべき。今後の対策は。②区独自に宿泊療養施設での軽症者受け入れを検討すべき。

答弁 ①軽症でも助言が必要な方などへの拡大は検討を進める。自宅療養者の一時的滞在施設を関係機関と検討。②区独自の予定はないが、拡充を都に要望。
介護職員不足について
質問 ①全国的に介護職員の不



介護に従事する人も介護を受ける人も笑顔で

足が深刻化している。区の状態は。②人材確保に向け復職や再就職支援などの対策を講じる必要がある。今後の取組みは。
答弁 ①介護職員の確保が厳しい状況だと認識。②ハローワー

クと連携した「ツアー面接会」や事業所職員向け研修「ケアカレッジ」等を実施。今後も介護

一般質問

スタートアップ新宿



伊藤 陽平

全小中学校の欠席連絡は
オンライン対応に

質問 第2回定例会で質問をした小中学校の欠席連絡のオンライン化について、改めて保護者や校長と意見交換の実施をしたが、まだ十分に周知されていない。

ちいさき声をすくいあげる会



よだ かれん

区立公園の喫煙所における
受動喫煙対策について

質問 ①新宿区民における喫煙率は2016年調査では男性は23.3%、女性は8.0%だが現状は。②改正健康増進法では、施設管理者に屋外での受動喫煙防止の配慮義務

社民党新宿区議会議員団



かわの 達男

自宅療養を止め新型コロナ
からのちと健康を守る

質問 コロナ感染から区民を守るため、①臨時医療施設の確保などが必要。区の所見は。②保健所機能の強化として、人的体制の充実に取り組むべき。③小

職員の定着や新たな人材確保に向け、事業者支援に努める。

い様子。支援の継続が必要では。

答弁 学校へ再度、欠席届のオンライン化に係る有効性について周知。その結果、9月10日時点で区内すべての小中学校で導入済みもしくは導入を予定している状態。引き続き導入に伴うシステム上の支援や運用のサポートを行い適切に対応していく。

務がある。喫煙所が設置されているすべての区立公園を改めて調査し、早急な改善を。

答弁 ①令和2年度に行った「新宿区政モニターアンケート」では男性は14.0%、女性は7.5%。②園内の喫煙状況を調査し、必要な箇所は対策を検討するとともに利用マナーの周知を図っていく。

中学校における抗原検査の実施方法は。④今後のワクチン確保の見通しは。⑤区民のいのちと健康を守るための今後の対応は。
答弁 ①一時的な滞在施設などを検討。②機動的かつ的確に対応。③研修を受けた教職員が立会い自己採取。④職域接種活用や他自治体との連携。⑤医師会等との協力などで取り組む。

新宿未来の会



鈴木ひろみ

時代に即した

学校プールの活用

質問 学校がコミュニティの核である一方、セキュリティ上の課題も複雑化してくる。学校プールの活用が、今後、再開される際に、感染症対策と地域への

の開放の両立、セキュリティ面での配慮が一層必要となる。課題等の整理も含めご所見は。

答弁 令和3年度は、利用ルールの修正や新たな運営のための準備を進めてきた。今後の学校プール活用は、整理した対応方針を踏まえ、感染状況を注視し、再開に向けて取り組んでいく。

自由民主党新宿区議会議員団



渡辺みちたか

アメリカザリガニ等が特定外来生物に指定されることについて

質問 自然の少ない都心部では、ザリガニ等が生き物や自然との貴重な接点になっている。外来種の飼育方法や生き物全般

の生き死に関わるテーマについて学校でどう取り扱うのか。

答弁 外来生物等は地域の自然環境や生態系の破壊につながるよう、取り扱いには十分配慮するとされる点を踏まえ指導。また、学校教育全体で生命の尊さや自然愛護について、児童の発達段階に応じ、学んでいる。

新宿区議会公明党



木もとひろゆき

山吹町周辺地域ガス供給の支障

質問 ①区は区内公衆浴場無料開放の情報提供を行ったが、町会では地域住民への周知が大変だった。今後の情報提供の在り方は。②ガス管に水の流入があ

り、場所の特定もできたが原因の特定は出来ていない。東京ガスに対し、区からも原因究明と再発防止を求めるべき。

答弁 ①町会・自治会と改めて意見交換し、効果的な情報提供の在り方を検討する。②東京ガスに対し、改めて早期の原因究明と再発防止策を強く要請する。

日本共産党新宿区議会議員団



藤原たけき

8月21日に発生した

ガス供給停止事故への対応

質問 ①今回なぜ「災害」として対応しなかったのか。②公衆浴場無料開放だけでなく文京区のように区施設のシャワー提供

や災害用備蓄品で食料支援をすべき。③相談窓口を設け、HPだけでなく情報提供を。④東京ガスと水道局に原因究明の要請を。

答弁 ①直ちに人命に影響を及ぼさない。②東京ガスが実施。③地元町会より情報収集し東京ガスへ伝達。町会長に東京ガスHP情報を提供④東京ガスに要請。

立憲民主党・無所属クラブ



田中ゆきえ

緊急通報システムについて

質問 区では「緊急通報システム」として、日常生活に常時注意を要する方を対象に、自宅で緊急時にご本人から警備会社に通報できる無線発報器を設置し

ています。現在、何台設置され、年間何件の通報がありますか。

答弁 令和3年6月末で510台が稼働しています。令和2年度の通報は150件、対応が必要なものは51件、救急隊による搬送は18件でした。今後も健康に不安のある方に積極的にご利用いただけるよう、周知に取り組めます。

新宿未来の会



えのき秀隆

今後の新型コロナワクチン接種

質問 区はこれまでに新型コロナワクチン接種について、飲食店勤務の方、3区合同ワクチン接種会場の設置等の対策を講じてきた。①今後のワクチン接種

の進め方は。②ワクチンパスポートの情報収集と取組みは。

答弁 ①夜の時間帯や東京ドーム、職域接種など区民が都合に合わせて選択できるようにワクチン接種を推進。②ワクチンパスポートのデジタル化やワクチン・検査パッケージの活用など、国の動向を注視し、適切に対応。

自由民主党新宿区議会議員団



大門さちえ

区民向け無料相談会のオンライン化について

質問 コロナ禍において、各種補助金、給付金などの無料相談会を実施する団体から、オンラインで相談会が実施できるよう、

環境の整備を求める声がある。オンラインが不慣れな高齢者でも相談ができるよう、区で無料相談会用のPCを用意すべき。

答弁 オンライン会議用PCの配備など、各種サービスのオンライン化を進めている。オンライン相談会の課題への対応について、団体と協議していく。

新宿区議会公明党



野もとあきとし

地域特性に応じたまちづくり

質問 ①補助72号線(つつじ通り)沿いの線路にある多数の大きな看板について、鉄道事業者と景観向上に取り組んでは。②小滝橋交差点に入る道は、自転

車がスピードを上げて進入するため、歩行者の安全対策が必要。

答弁 ①看板の裏側を壁面緑化するなど、みどり豊かで落ち着いたまちなみとなるよう鉄道事業者に働きかける。②令和4年度に整備する自転車通行空間へ自転車誘導するとともに、注意喚起の看板の設置等を検討。

日本共産党新宿区議会議員団



沢田あゆみ

気候危機を打開する

CO2削減の取組みを

質問 ①区本庁舎や区施設の電力を100%再生可能エネルギーにすべき。②区有施設屋根の太陽光パネル設置率目標を掲げ推進

し、住宅への設置補助の充実を。

答弁 ①本庁舎は課題を検討。他の区施設は検討・準備を進めている。②目標を掲げる考えはない。補助金は対応できるよう見直しする。③国や都の支援施策を区ホームページで周知に努め、区は更新時などに活用する。

立憲民主党・無所属クラブ



志田雄一郎

コロナ禍における自殺防止対策

質問 自殺防止対策に地域社会全体で取り組むとともに、関係機関との連携を強化し、専門部署を設置して取り組む自治体が多くある。区は、こうした取組

みについてどう考えるか。

答弁 区は、庁内に自殺対策推進会議、警察・消防等関係機関で構成する自殺総合対策会議を設置。これらを活用し、総合的な自殺対策の推進、相談体制やネットワークの強化を図っている。専門部署の設置は、今後他自治体の取組みなどを研究する。

自由民主党新宿区議会議員団



永原たかやす

区内公衆浴場への支援

質問 8月21日に生じたガスの供給支障により、地域における公衆浴場の重要性を再認識した。経営環境の厳しい区内公衆浴場の経営安定化に資する取組みは。

答弁 転廃業防止のため公衆浴場が設備を更新する際の経費の一部助成やコロナ禍における各公衆浴場が行う感染防止対策の広報への支援等を実施。引き続き、新宿浴場組合と定期的に意見交換や協議を行い、公衆浴場の経営の安定化に資する支援を検討し、着実に実施していく。

新宿区議会
ホームページも
ご覧ください

パソコンやスマートフォンなどを使い、区議会のインターネット中継(生中継・録画)、会議録の検索のほか、議会の予定や議員名簿、請願・陳情、意見書の全文などをご覧いただくことができます。



▲ インターネット中継(生中継・録画中継)

各会派の意見

決算特別委員会概要

9月22日の本会議で、令和2年度一般会計及び特別会計(3会計)の歳入歳出決算審査を行うため、委員17名で構成する「決算特別委員会」を設置しました。

「決算特別委員会」では9月24日から10月6日までの延べ9日間、令和2年度予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査が行われました。

10月6日には、各会派の賛成・反対の討論が行われ、採決の結果、4会計とも賛成多数で原案どおり認定すべきものと決定しました。

なお、この委員会決定について、それぞれ5名の委員から少数意見を留保する旨の申し出がありました。



▲委員の起立による採決

適正な予算執行の取組と新型コロナウイルス感染症の拡大防止への迅速な対応を評価

自由民主党新宿区議会議員団

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、日夜奮闘されています。医療従事者の方々をはじめとして、感染リスクの高い仕事に従事されています。方々のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。

令和2年度一般会計と3特別会計は、いずれも適正に執行されたものと認め、認定に賛成しました。

令和2年度の一般会計決算の歳入では、特別区交付金が43億円の減となったものの、特別区民税の9億円の増、国庫支出金が特別区額給付金給付事業の実施等により、360億円の増となるなど、全体として、前年度に比べ379億円の増となっています。

一方、歳出では、義務的経費の扶助費は、住居確保給付金、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業等の増により、19億円の増、投資的経費は、四谷駅前地区市街地再開発事業完了に伴う実績減などによる18億円の減、その他経費では、補助費等が特別区額給付金給付事業、商業緊急資金利子補給の実施などにより369億円の増となるなど、全体での歳出の規模は前年度に比べ380億円の増となりました。

区では、新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種として、2回目を終了した方のうち、概ね8か月以上経過した方を対象に、追加接種を行うことにしています。

今後の区政運営にあたっては、新型コロナウイルスの収束時期が見通せない中、必要な防止対策に、的確な予算執行を望みます。

新型コロナウイルスの感染防止対策を推進し区民の生活と暮らしを守る取組を評価

新宿区議会公明党

令和2年度、一般会計及び3特別会計は、いずれも適正に執行されたものと認め賛成しました。

令和2年度予算は、「第一次実行計画の総仕上げとともに、財政環境の変化に柔軟に対応し、現下の区政課題の解決に向け着実に前進する予算」と位置付け編成されています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通りの成果をあげることが困難な状況の中、第一次実行計画の目標達成とともに、限られた財源の重点的、効果的な配分により区政課題に対応されました。

特に、我が会派が要望してまいりました、フレイル予防を通じた健康長寿と認知症対策の推進、障害者グループホームの整備、待機児童解消策の推進、産前産後ケア事業の充実、いじめ・不登校対策の強化、医療的ケア児の支援充実、屋内運動場の空調設備整備、防災・防犯対策の推進、中小企業支援策の強化など、施策の具体的な推進が図られていることを評価いたします。

今後の財政運営については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行う中で、必要な支援を的確に行うことが求められており、区財政は一般財源の伸びが期待できないなど、厳しい状況が想定されます。これからの区民の命と健康、暮らしを守るため、「新たな日常」を基軸に各施策が着実に実行されるよう、将来にわたって持続可能で強固な財政基盤を確立することを切望いたします。

8年連続黒字の区財政 基金607億円等を活用しコロナ禍で苦しむ区民事業者に区としての支援を

日本共産党新宿区議会議員団

日本共産党区議団は、区内各種団体との懇談や区政アンケートで頂いた声をもとに、2020年度予算編成に向けて、重点51項目含む472項目の要望書を区長に提出してきました。

児童クラブや認可保育園の増設、精神障害者への障害福祉手当の支給等、区民の要望が取り入れられた部分は評価できます。しかし、コロナ禍での区民の命と暮らしを守るために私たちが提案してきた施策に背を向け続けた区の姿勢は容認できません。今回の決算審査で私たちは、8月には区内で自宅療養者が最大1,435人となり、4人が在宅死した医療崩壊の原因と対策を明らかにするよう求め、臨時病院とホテルの確保等区独自の施策を求めましたが、消極的な答弁でした。コロナ対策において区と教育委員会の危機感の欠如が最も現れたのが、パライピック学校連携観戦の強行です。私たちは、児童・生徒の命を守る立場から中止を求めてきましたが、第5波で医療が逼迫し、過去最悪の感染者数の中で観戦を決定したことは、感染状況を無視し、児童・生徒の命を守る姿勢の欠如と言えます。

2020年度の決算は、実質単年度収支が8年連続の黒字となり、基金残高も607億円に増え、極めて区財政は堅調です。豊かな区財政を活用しコロナ禍で苦しんでいる区民・事業者へ積極的な支援を行うことを求めます。

令和3年 第4回定例会のお知らせ

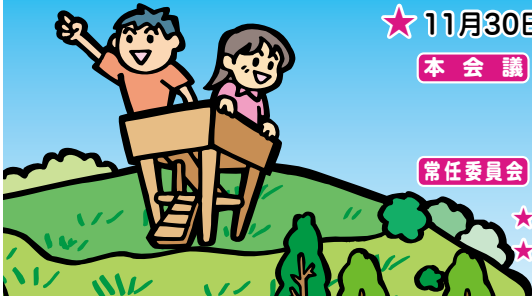
★11月30日から12月9日までの予定です。主な日程は、次のとおりです。

- 本会議** 11月30日(火) 午前10時から(代表質問等)
12月1日(水) 午前10時から(代表質問・一般質問、議案の提案説明等)
12月9日(木) 午後2時から(議案の採決、意見書・決議の採決等)
- 常任委員会** 12月2日(木)・3日(金) 午前10時から

- 特別委員会** 12月6日(月) 午前10時から
(防災等安全対策、自治・議会・行財政改革等)
- 12月7日(火) 午前10時から
(オリンピック・パラリンピック・文化観光等)

★手話通訳者または要約筆記者を配置できます。事前に議会事務局(TEL: 5273-3534、FAX: 3209-9995)までご連絡ください。

★本会議場の5階傍聴席に、ヒアリンググループシステムを設置しています。また、ヒアリンググループシステム用受信機を貸し出しています。ご希望の方は、議会事務局にお申し出ください。



令和2年度決算

決算特別委員会

決算審査における主な質疑

- 成功裏を収めた東京2020パラリンピック学校連携観戦について
- 特別区民税の減税対応としてのふるさと納税制度の活用促進について
- 障害者グループホームの整備について
- 産前産後ケア事業の充実について
- 帰宅困難者対策における一時滞在施設の確保について
- コロナ禍での生活困窮者の救済について
- 基金607億円等豊かな区財政を活用し、コロナ禍で苦しむ区民・事業者を守ることにについて
- 新型コロナウイルス感染症に対する区の危機意識の欠如について
- 順調な区財政をコロナ対策にもっと投入することについて

区民の命と生活を 守るため、区民の視点を 第一とし、将来を 見据えた区政運営を

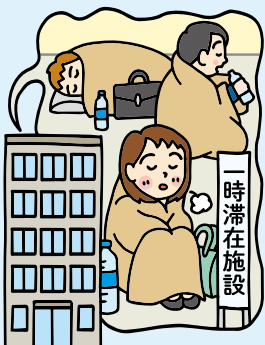
立憲民主党・無所属クラブ

令和2年度の決算は、6年ぶりに財政調整基金を8億円取り崩しましたが、実質単年度収支は8年連続の黒字となりました。

また、区有財産の有効活用による基金の積み立て等を行った結果、各種基金残高も一定規模で確保することが出来ました。

そのような中、認定第1号から認定第4号までの決算については、いずれも概ね適正に執行されたものと認め、すべてに賛成致します。

本委員会において我が会派より「帰宅困難者対策における一時滞在施設の確保について」、「学校給



食の無償化について」、「高齢者や子育て世代への支援について」、「コロナ禍での生活困窮者の救済について」等に対して意見や提案をさせていただきました。

2040年ごろまでは高齢者の急増や年少人口の横ばいにより、膨大な公共施設の改築需要が生じ、医療・介護、子育て、防災、雇用など喫緊の財政需要への対応や、感染防止対策は引き続き緩めることなく行わなくてはなりません。

どのような状況下においても、区民の命と生活を守り、区民の視点を第一とし、将来を見据えた区政の推進に力を尽くしてまいります。

未知のウイルスに 対峙し、将来を見据えつつ 必要な施策を適宜実施 したと判断し賛成

新宿未来の会

冒頭にコロナ禍に於いて最前線で戦うすべての関係者の方々へ謝意を表します。

新型コロナウイルスは世界中で猛威をふるい、変異株の相次ぐ出現などいまだに先の見えない状況が続いています。誰もが「正解」を持ち合わせていないウイルスへの対応では、事態の悪化を防ぐために、意思決定、区民への情報発信、関係機関との折衝など多岐にわたる実務を瞬時にこなします。令和2年度は多くの国々でロックダウンが実施され、我が国

に於いても緊急事態宣言が発出されました。そのような環境下、区長を中心に区には、新型コロナウイルスの脅威から区民の生命と生活を守るため、経済的に困窮される方々への経済支援策など必要な施策を適宜実施していただきました。感染症への正しい理解や予防対策など周知啓発するため、広報体制の強化、情報発信にも注力していただきました。財政面においては状況を見極め、「ポストコロナ」の時代にどのような区政を展開してゆべきか、将来を見据えつつ経費削減なども行いながら、柔軟な区政運営を推進していただいたと考えます。

以上を踏まえ、我が会派は令和2年度決算に関して、数値、そして政策の妥当性について検証を行いました。各会計決算は適正であると判断しすべての議案に賛成いたしました。



雨宮 武彦 副委員長



木もと ひろゆき 委員長



渡辺 みちたか 副委員長

令和2年度 各会計歳入歳出決算総括表

会 計 別	歳 入	歳 出	差 引 額
一 般 会 計	1,877億739万8,802円	1,841億8,691万7,566円	35億2,048万1,236円
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	353億4,773万6,616円	349億3,365万9,010円	4億1,407万7,606円
介 護 保 険 特 別 会 計	260億2,302万485円	245億6,422万2,854円	14億5,879万7,631円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	73億3,245万9,975円	72億9,164万2,098円	4,081万7,877円
合 計	2,564億1,061万5,878円	2,509億7,644万1,528円	54億3,417万4,350円

第3回定例会における 新型コロナウイルス感染症の 感染拡大防止の取り組み

新宿区議会では、緊急事態宣言下で開催する第3回定例会に向けて、議会運営委員会が中心となり、新型コロナウイルス感染症への対応について議論を重ねてきました。

その中で、決算特別委員会は、通常時に使用している大会議室のほか、本会議場を利用することにより出席者を分散して開催しました。また、各委員会の開催場所を広い会議室に変更するなどの対応を行いました。あわせて、各会議室の出入口には手指消毒用アルコールの設置、換気の徹底、不織布マスクの着用を徹底するなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止に取り組みました。



本会議場での理事者の様子

順調な区財政で コロナ対策を進め 区民の健康と くらし優先の区政実現

社民党新宿区議会議員団

2020年度決算から見た新宿区財政は、きわめて順調でした。

コロナ感染症の急拡大で、区民は健康とくらしの不安が続く、くらしは厳しい毎日の連続です。

対策も進めましたが計上した補正予算は余りました。もっと区民の健康とくらしを守るため健全な区財政を活用した施策を求めます。

区民のくらしは、実質賃金の低下やコロナ禍でたいへんな状況です。自宅待機を止め、十分な補償と支援に取り組み、PCR検査などを拡大して治療と予防を進めます。

順調な区財政で区民のくらしとくらしを守る区政を実現します。



「新宿区議会だより」は、点字版・音声版（カセットテープ版・CD版・DAISY版）を作成し、ご希望の方にお届けしています。新たにご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

※DAISY版の再生には、専用の再生機やソフトウェアが必要です。

『新宿区議会だより』
点字版・音声版の
お知らせ

委員会の動き

新型コロナウイルス感染症対策を含む 一般会計補正予算などの議案を審査

総務区民委員会

●第3回定例会では、議案12件と請願2件、陳情2件を審査し、8件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、新型コロナウィルス感染症対策経費（ワクチン3回目接種等）や区内中小企業支援に伴う「令和3年度新宿区一般会計補正予算（第8・第9号）」など6件の補正予算について、その他条例改正4件、契約2件について審査を行い、可決しました。

●請願審査では、「固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願」を採択とし、陳情審査は1件を継続審査、1件は審査未了としました。

●報告案件では、「新宿区職域接種の実施状況について」、「令和3年度新宿区区民意識調査（速報版）」についてなど8件の報告を受け、質疑を行いました。

新宿区保健衛生事務手数料条例の 一部を改正する条例などの議案を可決

福祉健康委員会

●第3回定例会では、議案7件と陳情5件を審査し、8件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、「新宿区保健衛生事務手数料条例の一部を改正する条例」と「令和3年度新宿区一般会計補正予算（第8号）中歳出第5款福祉費歳出第7款健康費」など6件の補正予算の議案を全員賛成で可決しました。

●陳情審査では、新たに付託された「希望者全員への早期の新型コロナワクチン接種

「新宿区立住宅管理条例の一部を改正する 条例」などの議案を可決し陳情5件を審査

環境建設委員会

●第3回定例会では、議案3件と陳情5件を審査し、7件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、「新宿区立住宅管理条例の一部を改正する条例」、「特別区道の路線の廃止及び認定について」、「令和3年度新宿区一般会計補正予算（第8号）」について審査し、全員賛成で可決しました。

●陳情審査では、「2030年度のCO₂削減目標の引き上げに関する陳情」を採択、「余

●報告案件では、「新宿区耐震改修促進計画（改定素案の作成及びパブリックコメントの実施について）」などの報告を受け、質疑を行いました。

新宿区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準 を定める条例の一部を改正する条例などの議案を可決

文教子ども家庭委員会

●第3回定例会では、補正予算を含む議案5件を審査し、5件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、「新宿区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」など3件の条例案並びに「令和3年度新宿区一般会計補正予算（第8号）中歳出第6款子ども家庭費歳出第10款教育費」

●報告案件では、「新型コロナウィルス感染症対応に

コロナウィルス感染症対策、千葉県 北西部地震の状況及び対応について議論

防災等安全対策特別委員会

●第3回定例会では、「新型コロナウィルス感染症対策本部会議実施状況について」を

クチン接種の実績、路上飲み対策や区施設等の利用制限の延長など、多岐に渡って確認や議論がなされ、感染再拡大に備えた体制整備が求められました。

●10月7日千葉県北西部で発生した地震の状況及び対応について」の報告を受け、質疑を行いました。区内での被害が確認されたほか、復旧作業に要した時間などが質疑されました。非常時参集の判断基準、がけ・擁壁の点検などへの指摘もあり、区の対応と今後の課題について、意見が出されました。

文書共有システムの利用促進及び 区議会フロアの通信環境等について議論

自治・議会・行財政改革等特別委員会

●第3回定例会では、調査事件2件を議題としました。

●「令和3年度都区財政調整について（当初算定）」を議題とし、担当課から説明を受け、質疑を行いました。

●「議会改革について」では、本年導入した文書共有システムのさらなる利用促進と区議会フロアのWi-Fi等の通信環境の強化について、課題も出されました。

商工業緊急資金（特例）など 2件の補正予算を可決

オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会

●第3回定例会では、議案2件を審査し、5件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、「令和3年度新宿区一般会計補正予算（第8号）中歳出第4款文化観光産業費」など2件の補正予算について審査を行い、全員賛成で可決しました。

●報告案件では、「緊急事

皆様から託された

請願・陳情の審議結果

請願・陳情の内容は、区議会ホームページをご覧ください。この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

採択 3件

□固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願（同件名ほか1件）

□2030年度のCO₂削減目標の引き上げに関する陳情

継続審査 1件（新たに提出されたもの）

□沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画の断念について国に対し意見書の提出を求める陳情

審議未了 7件

□辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

□18歳までの国民健康保険料均等割の半額助成を新宿区に求める陳情

□希望者全員への早期の新型コロナワクチン接種とPCR検査等の拡充、感染者に対する速やかな治療を求める陳情

□新宿区立高齢者いこいの家「清風園」解体工事の中止を求める陳情

□愛住公園の新設滑り台に関する陳情

□国の「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」に対して、従来の海上ルートに戻すことも含めた新飛行ルートの本格的見直しを行うように意見書の提出を求める陳情

あとがき

令和3年第3回定例会の記事を中心にまとめた議会だよりをお届けします。区議会を身近に感じていただけるような紙面作りを心がけています。本紙についてのご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。